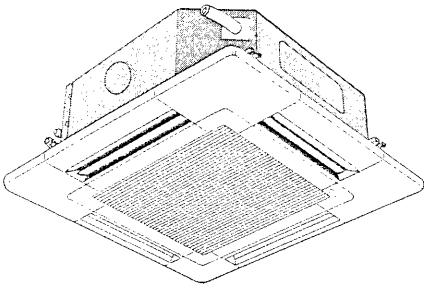
MITSUBISHI

三菱電機ジェットバーナー暖房エアコン

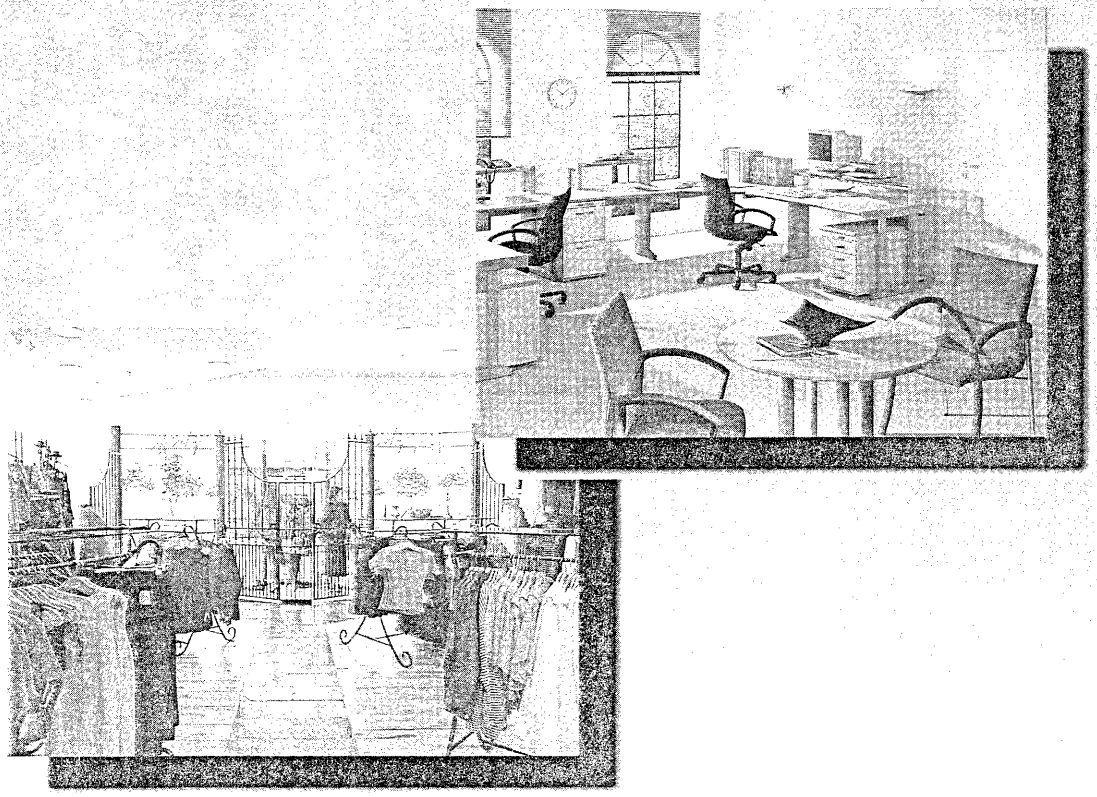
Mr.SLIM

取扱説明書



PLZB-AA・PLHB-AAシリーズ

4方向天井カセット形



SAVE

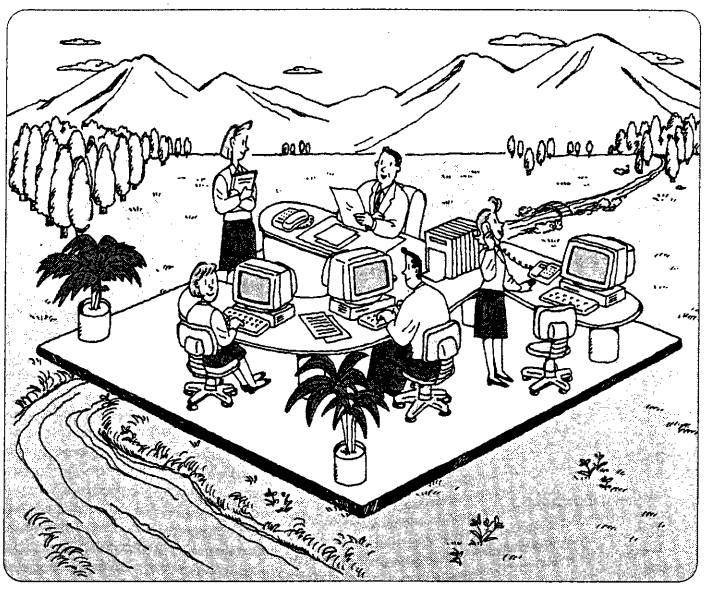
省エネで
守る環境　豊かな暮らし

このたびは三菱電機ジェットバーナー暖房エアコンをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この説明書を必ずお読みください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管ください。
- 保証書は「お買上日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管ください。
- お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書及び保証書をお渡しください。
- お客さまご自身では据付・移設をしないでください（安全や機能の確保ができません）。

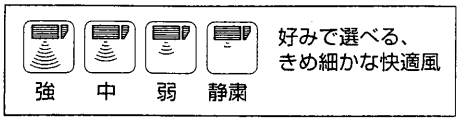
ミスタースリムの特長

4つのGood!!で、快適空間をお届けします。



Good!! 快適性

- ●快適な風を吹き分ける オートベーン
- ●選べる快適さ 風速4段階



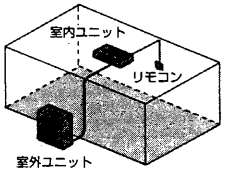
Good!! 静音性

- ●室内ユニットの風速調節に 静粛設定採用

組み合わせいろいろ

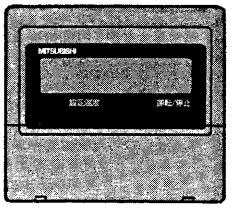
標準システム

1台の室外ユニット・1台の室内ユニット・1個のリモコン
で構成された標準的なシステム



リモコン（別売部品）

- リモコンは、ワイヤードタイプです。
- 1システムに2個のリモコンまで接続可能です。



ワイヤードタイプ

Good!! **お手入れ性**

●フィルタークリーニングサインで、清掃時期をお知らせ
●ロングライフフィルターを標準装備し、清掃回数を削減
●上下風向ベーンの汚れもサッと一拭きの植毛レスベーンを採用

Good!! **インテリア性**

●天井面にすっきり溶け込む薄形の化粧パネル
●おしゃれなインテリアにもすっきり、やわらかくフィットするデザイン

もくじ

お使いになる前に

ミススリムの特長 ---------- 2
安全のために必ずお守りください ---------- 4
各部のなまえ ---------- 8
使用前の準備 ---------- 10

運転のしかた

ワイヤードリモコン ---------- 12
運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた -- 13
タイマー運転のしかた ---------- 14
自動運転、換気単独・換気連動運転のしかた ------ 15
もっと知りたいとき ---------- 16
上手な使い方 ---------- 17

お手入れのしかた・困ったときに

お手入れのしかた ----------18
長期間ご使用にならないとき ----------19
「故障かな？」と思ったら ----------20
安全装置・その他の装置 ----------23
部品・別売部品・保証とアフターサービス ---24
移設・工事・点検について ----------25
標準据付け例・試運転について ----------26
仕様 ----------28

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■“図記号”の意味は次のとおりです。

禁　止	ぬれ手禁止	水ぬれ禁止
ガソリン厳禁	指示を守る	アース線接続

●ご使用時

⚠警告

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

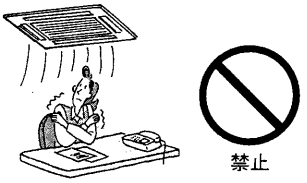
異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。
また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買上げの販売店にご連絡ください。

濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。

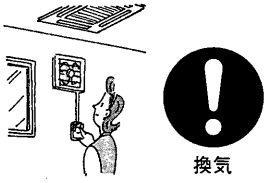
長時間直接お肌に風をあてない

健康を損なう原因になります。



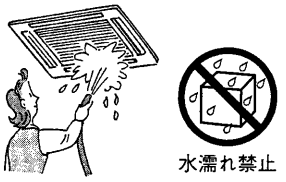
万一冷媒が洩れても限界濃度を超えないよう換気対策を行なう

冷媒が洩れると、酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。



エアコン及びリモコンを水洗いしない

ユニット及びリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。



お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない

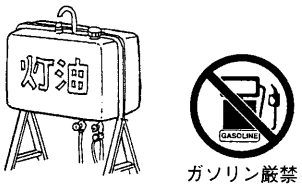
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買上げの販売店にご相談ください。

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

特にお子さまにご注意を！
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

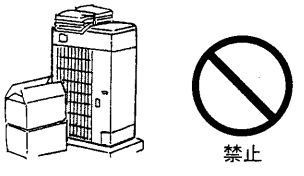
ガソリン厳禁

ガソリンなどの揮発性の高い油は使わない。
（火災の原因になります）



室外ユニットの上や周囲に燃えやすいものを置かない

過熱により火災の原因になります。

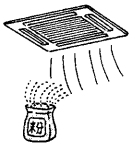


●ご使用時

⚠注意

粉が浮遊する作業場等では使用しない

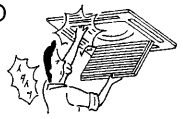
粉じんなどにより機器の故障や健康を損う原因になります。



禁止

室内ユニットの金属部にさわらない

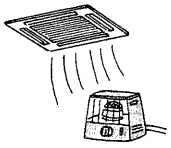
フィルターを外したときにケガの原因になります。



禁止

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

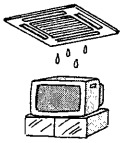
不完全燃焼や熱によるエアコン変形の原因になります。



設置禁止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

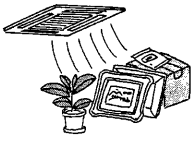
冷房時、多湿（湿度80%以上）時の長時間運転及びホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。



設置禁止

特殊用途に使用しない

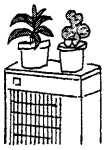
精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しない。品質低下の原因になります。



使用禁止

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

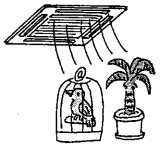
落下・転倒によるケガの原因になります。



禁止

直接風があたる所に動植物を置かない

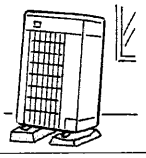
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。



設置禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない

ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。



放置禁止

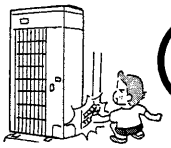
殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

火災・変形の原因になります。

使用禁止

運転中に冷媒配管に触れない

素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。



禁止

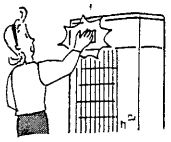
フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります。

禁止

室外ユニットの高温部に手などを触れない

運転中や停止直後の排気トップとその周辺は高温になります。手などで触れるとやけどになる恐れがあります。



禁止

フィルターなどの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。

保護具着用

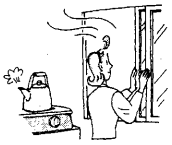
薬品消毒はしない

火災・変形の原因になります。

使用禁止

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

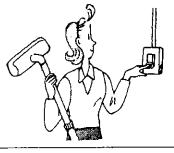
酸素不足の原因になります。



換気

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



電源を切る

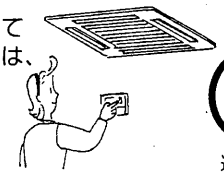
安全のために必ずお守りください

●ご使用時

⚠注意

給油のときは運転を止める

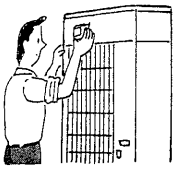
こぼれた灯油は、よくふき取ってください。また、給油口のふたは、確実に締めてください。



運転禁止

排気トップが正しく接続されているか確認する

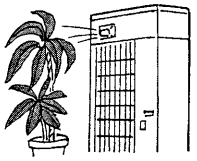
外れていると、火災か不完全燃焼の原因になります。



確認

愛がん動物や植木などに排気ガスをあてない

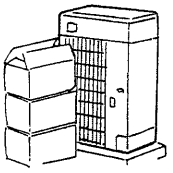
動物が死んだり、植木が枯れる原因になります。



禁止

吸込口・吹出口をふさがない

性能が低下したり保護装置がはたらき運転できないことがあります。



禁止

●据付け時　次の項目をご確認ください。

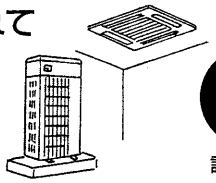
⚠警告

据付けは、お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

据付け

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。



設置場所

元電源の取付位置を確認する

元電源

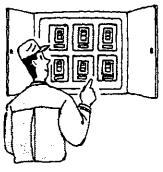
使用される別売部品は当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。

別売部品

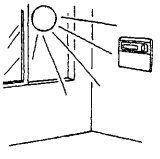
電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。



専用回路

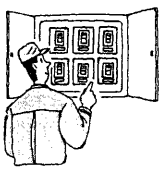
リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付けない。



据付禁止

漏電遮断器を取付ける

取付けていないと、感電の原因になります。



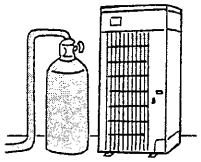
漏電遮断器

●据付け時

⚠注意

可燃性ガスの洩れる恐れのある場所へは据付けない

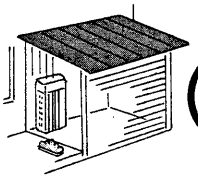
ガスが洩れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。



設置禁止

周囲を囲まれている場所に室外ユニットを設置しない

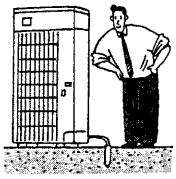
ガレージなど、周囲を囲まれている場所に室外ユニットを設置すると、異常燃焼の原因になります。



設置禁止

アース工事を行なう

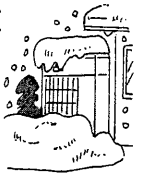
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース工事

雪などで排気トップが塞がれる可能性がある場所に室外ユニットを設置しない

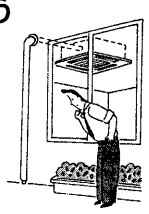
異常燃焼の原因になります。



設置禁止

ドレン配管は確実に行なう

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。



排水

標高1500m以上の高地に設置しない

異常燃焼の原因になります。

設置禁止

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが洩れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が洩れたときの処置）

万一冷媒が洩れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして充分換気を行なってください。その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください。

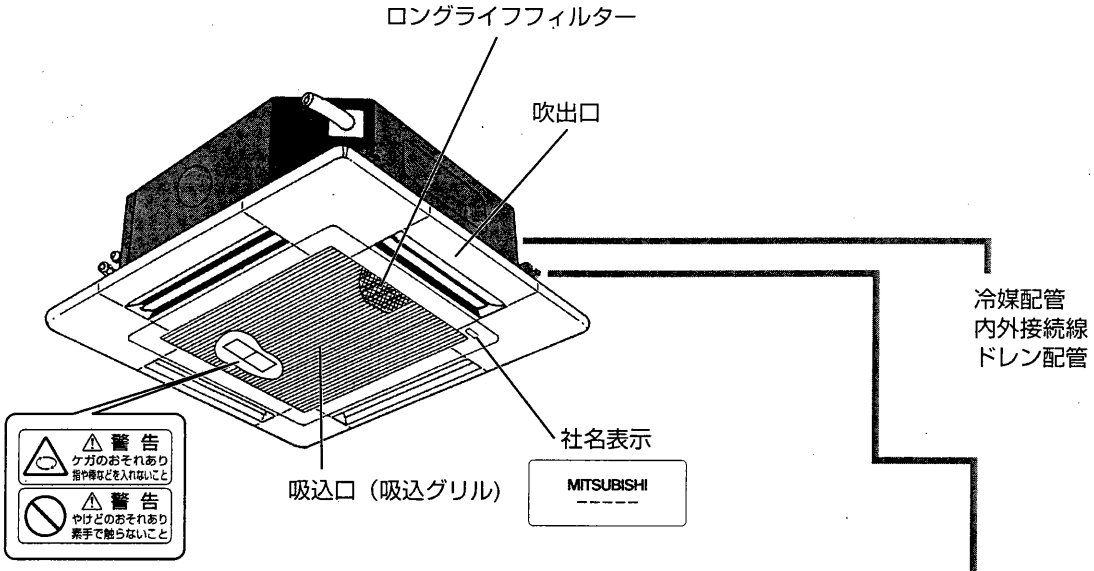
本体が腐食しガス洩れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

- 可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
- 粉や蒸気が多量に発生するところ
- 酢（酢酸）を多量に使用するところ
- 油煙がたちこめるところ
- 温泉地などの硫化（イオウ系）ガスが発生するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪により室外ユニットが塞がれるところ

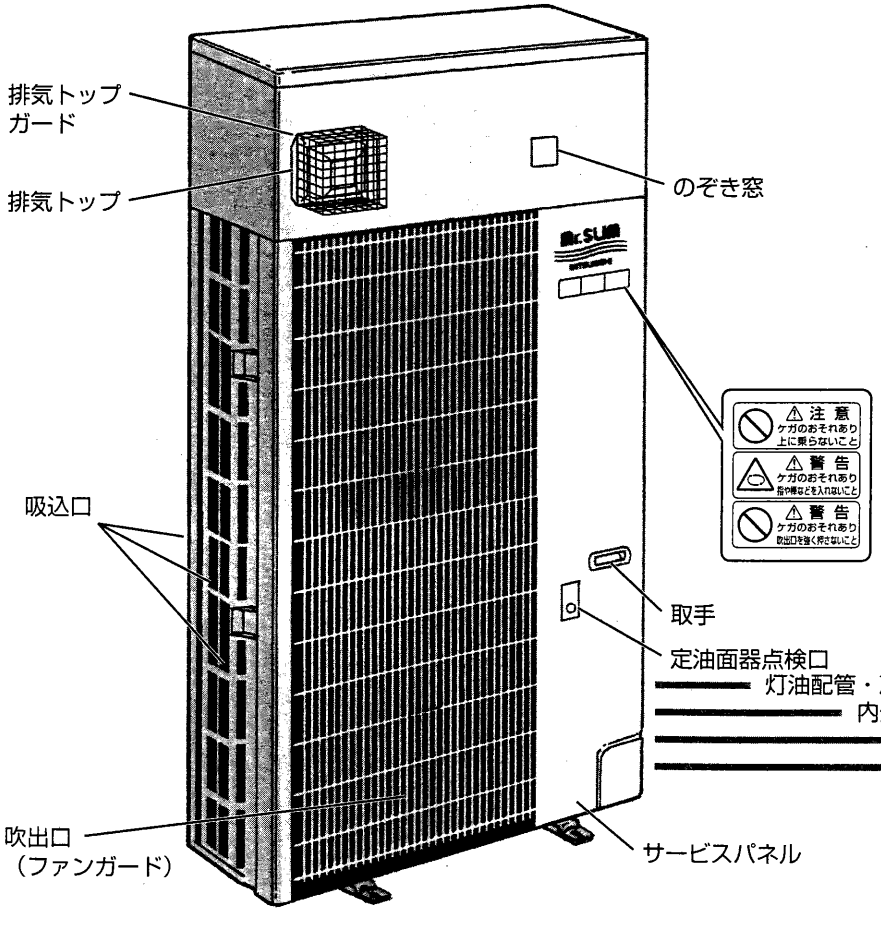
（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

各部のなまえ

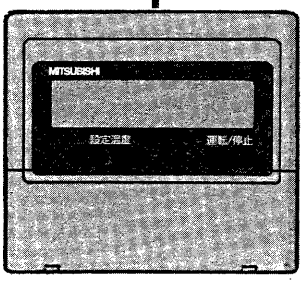
室内ユニット



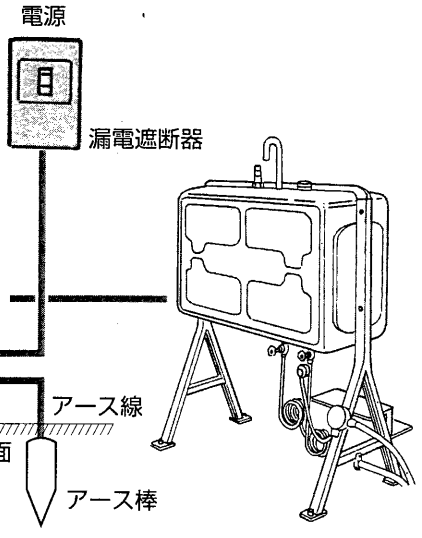
室外ユニット



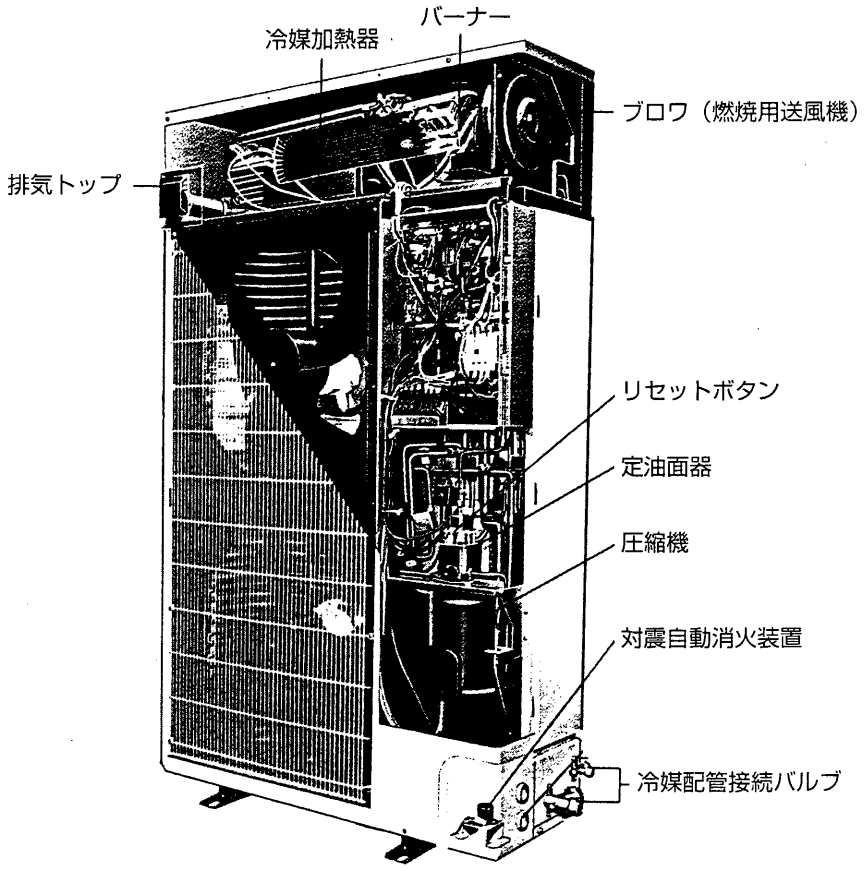
リモコン



ワイヤードリモコン（別売部品）



室外ユニット内部のなまえとはたらき



な　ま　え	は　た　ら　き
バーナー	灯油を燃焼させます。
排気トップ	燃焼排気ガスを排出します。 運転中や停止直後は高温になりますので、手などを触れないでください。
冷媒加熱器	内部で灯油を燃焼させて、冷媒を加熱します。
ブロワ（燃焼用送風機）	燃焼に必要な空気を取り入れ、バーナーに送ります。
定油面器	油タンクから送られた灯油の高さを一定に保ちます。
リセットボタン	定油面器をリセットするためのボタンです。 リセットのしかたは11ページをごらんください。
圧縮機	冷媒を循環させます。
対震自動消火装置	地震などの場合に運転を停止させます。 詳しくは23ページをごらんください。
冷媒配管接続バルブ	冷媒配管をつなぎます。

使用前の準備

燃　料

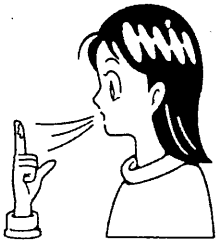
●必ずJIS1号灯油を使う

ガソリン、変質灯油、不純灯油などは、絶対に使用しないでください。

灯油とガソリンの見分けかた

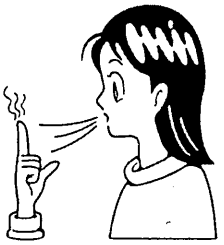
指先につけて息をふきかけます。
（火の気のないところでしてください）

灯油



ぬれたままです

ガソリン



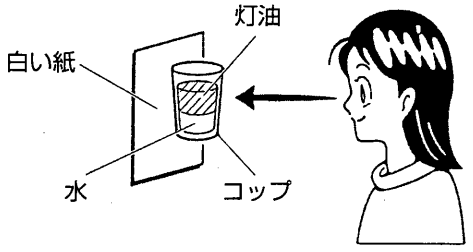
すぐ乾いてしまいます

●変質灯油とは

■日光のあたる場所で長時間保管したもの。
■温度が高い場所で長時間保管したもの。

見分けかた

水よりも色がついていたら変質灯油です。
変質のひどいものは、黄色みを帯びたり、すっぱい臭いがします。



●不純灯油とは

■水やゴミが混入したもの。
■灯油以外の油（天ぷら油、機械油、ガソリンなど）が混入したもの。
■助燃剤等が混入したもの。

●誤って変質灯油、不純灯油を使用してしまった場合

■お買い上げの販売店にご相談ください。

●油タンクの据付けの確認

■油タンクの据付け・接続は販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施しますが、据付工事完了後お客様ご自身でもご確認ください。

給　油

●給油の手順

⚠警告 | ガソリン厳禁

空になる前に灯油を入れてください。(空になると配管途中に空気がたまって、灯油が流れません)

1 油タンクの給油口ふたをはずす。

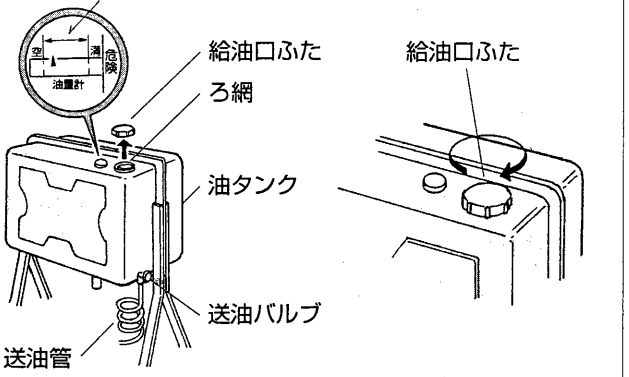
2 給油口についている「ろ網」の上からこぼさないように灯油を入れる。

■給油の際に、水、ゴミなどを入れないよう特に注意してください。水、ゴミなどは燃焼不良などの原因になります。

3 給油口ふたを確実に閉める。

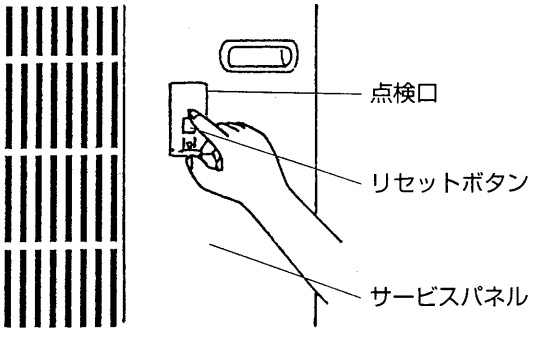
給油のしかた

この範囲でご使用してください。



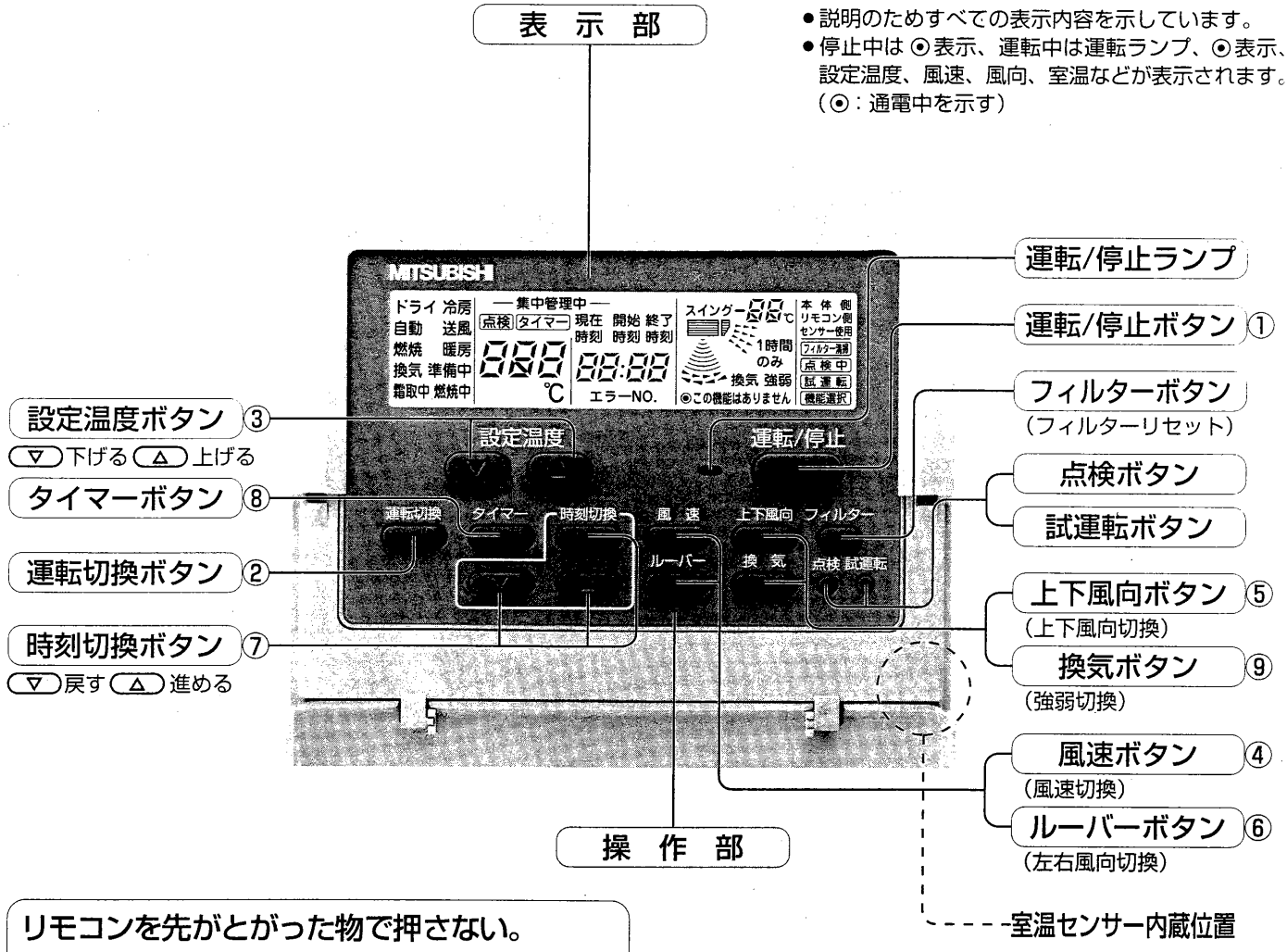
運転開始前の準備・確認

■室外ユニットが水平に据付けられていることを確認する。
■室外ユニットの定油面器をリセットする。
①室外ユニットのサービスパネルの点検口のねじをゆるめ、点検口を開く
②赤いリセットボタンを2～3回押す
③点検口を元に戻す
● シーズン始めや、お手入れのあと、再運転するときは、リセットボタンをもう一度押しなおしてください。
■油タンクの送油バルブと室外ユニット側のオイルストレーナのコックを開く。
■油タンクや送油管などに、油漏れがないか確認する。
■室外ユニットの上や周囲に燃えやすいものがないか確認する。



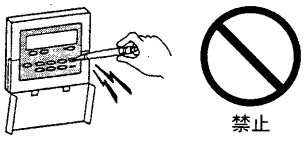
ワイヤードリモコン（別売部品）

- 説明のためすべての表示内容を示しています。
- 停止中は ⊙表示、運転中は運転ランプ、⊙表示、設定温度、風速、風向、室温などが表示されます。
（⊙：通電中を示す）



リモコンを先がとがった物で押さない。

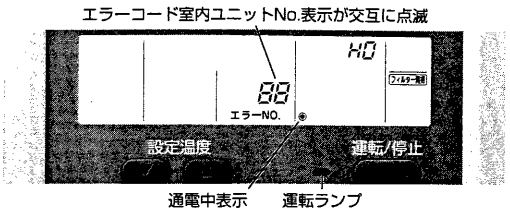
故障の原因になります。



リモコンガイド

●“H0” 表示（初期自動点検中）
電源を入れたときと停電が復帰したとき…約2分間お待ちください。

●運転ランプ・エラーコードの点滅
点滅しているときは点検が必要です。
エラーコードを確認の上、お買上げの販売店へご連絡ください。



●“フィルター清掃” 表示
フィルターの清掃をしてください。＜18ページ参照＞

“この機能はありません”

●上下風向・ルーバー・換気ボタンを押しても機能がない室内ユニットの場合は“この機能はありません”表示が出ます。

●1個のリモコンで2種類以上の室内ユニットを同時運転している場合は1台でも機能を装備した室内ユニットがあれば表示されません。

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

●運転開始の前に…

電源（8ページ参照）が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。
エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。

運転の開始、運転モードを選ぶとき

1.（運転／停止）ボタン①を押す。
- 運転ランプと表示が点灯します。

2.（運転切換）ボタン②を押す。
- 1回押すごとに設定が切換わります。

冷房➡ドライ➡送風➡自動➡燃焼暖房➡暖房➡換気※1

※1 換気装置が連動されていない場合は、表示されません。
・換気装置が連動されている場合、全ての運転モードで連動しています。

設定温度を変えたいとき

室温を下げたいとき…（▽）設定温度ボタン③を押す。
室温を上げたいとき…（△）設定温度ボタン③を押す。
- 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
- 温度設定範囲は次の通りです。

冷房・ドライ運転	燃焼暖房運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19～30℃	17～28℃	17～28℃	19～28℃	設定できません

風速を変えたいとき

（風　速）ボタン④を押す。
- 1回押すごとに設定が切換わります。

（静粛）（弱）（中）（強）

お知らせ ■このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
- “暖房準備中”・“霜取中”表示のとき
- 暖房運転直後（モード切換待機中）
- 暖房モード・燃焼暖房モードで設定温度より室温が高いとき

再運転時の運転内容（リモコン設定）

- 再運転時は下記リモコン設定内容となります。

	リモコン設定内容		
運転モード	前回の運転モード		
設定温度	前回の設定温度		
風速	前回の設定風速		
上下風向	運転モード	冷房・ドライ	水平吹出し
		暖房・燃焼暖房	前回の設定風向
		送風・換気	水平吹出し

上下風向を変えたいとき

（上下風向）ボタン⑤を押す。
- 1回押すごとに設定が切換わります。

表示 運転モード	表示 風速	スイング	水平吹出し 30°	下吹出し 45°	下吹出し 55°	下吹出し 70°
暖房・送風	強・中・弱・静粛	スイング	水平吹出し 30°	下吹出し 45°	下吹出し 55°	下吹出し 70°
冷房	強・中					
	弱・静粛	スイング	水平吹出し 30°	下吹出し 45°	下吹出し 55°	下吹出し 70°
ドライ	設定不可		※1時間設定有効			

※1時間経過すると自動的に水平吹出しにもどります。

運転モード変更時のマイコン自動設定
（スイング設定のときは継続します）
- 冷房・送風・ドライ・換気モードにしたとき …水平吹出し30°
- 暖房モード・燃焼暖房モードにしたとき ……下吹出し70°

お知らせ ■このようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。
- “暖房準備中”・“霜取中”表示のとき
- 暖房運転直後（モード切換待機中）
- 暖房モード・燃焼暖房モードで設定温度より室温が高いとき

お知らせ ■この製品は、各吹出口毎に上下風向を固定することができます。※設定は据付時行ないます。
なお、固定した上下風向はリモコンによる操作、及びすべての自動コントロールが無効になります。また、リモコンの液晶表示と異なる場合があります。

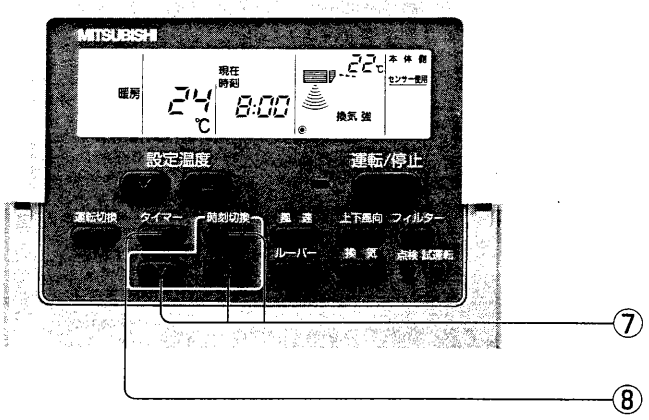
左右風向を変えたいとき

- 本機種には左右風向を切換える機能はありません。
（ルーバー）ボタン⑥は使用できません。）

運転を停止するとき

（運転／停止）ボタン①を押す。

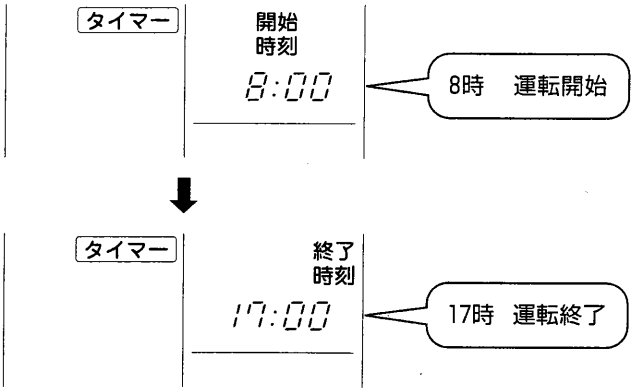
タイマー運転のしかた



■タイマー運転には次の3つの方法があります。
- 入タイマー運転 運転の開始のみをタイマーで行なう。
- 切タイマー運転 運転の停止のみをタイマーで行なう。
- 入⇄切タイマー運転 運転・停止の両方をタイマーで行なう。

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。
■タイマー運転中（タイマー表示しているとき）は時刻設定・変更はできません
■タイマー時刻設定は、10分単位です。

タイマー設定表示例



現在時刻の設定を行なうとき

1. 時刻切換 ボタン⑦を押し、表示を 現在時刻 にする。
2. 時刻切換 △ ボタン⑦を1回押すごとに進み、
   時刻切換 ▽ ボタン⑦を1回押すごとに戻る。
   - ボタンを押し続けると早送り（早戻し）になります。
   - 設定終了後約10秒で表示は消えます。

入タイマー運転を行なうとき

1. 時刻切換 ボタン⑦を押し、表示を 開 始 時 刻 にする。
2. 時刻切換 △ または ▽ ボタン⑦を押して時刻を合わせる。
3. 終 了 時 刻 を --:-- の表示に設定する。
   - --:-- の表示は23：50と0：00の間に表示されます。
4. タイマー ボタン⑧を押し、表示を タイマー にする。

切タイマー運転を行なうとき

1. 時刻切換 ボタン⑦を押し、表示を 終 了 時 刻 にする。
2. 時刻切換 △ または ▽ ボタン⑦を押して時刻を合わせる。
3. 開 始 時 刻 を --:-- の表示に設定する。
4. タイマー ボタン⑧を押し、表示を タイマー にする。

入⇄切タイマー運転を行なうとき

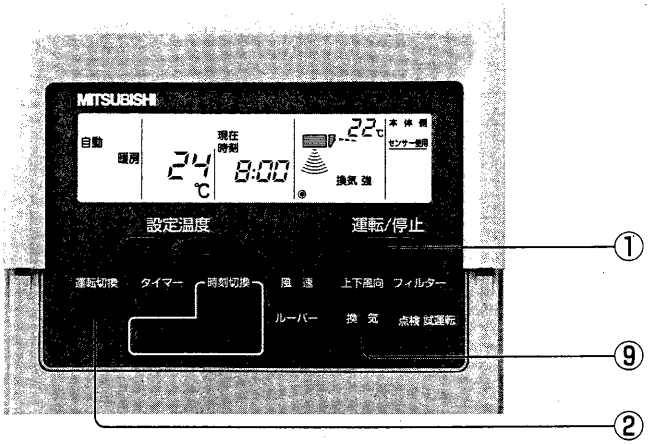
1. 入タイマー・切タイマー両方の設定をする。
2. タイマー ボタン⑧を押し、表示を タイマー にする。

タイマー運転を解除するとき

タイマー ボタン⑧を押して タイマー 表示を消す。

お知らせ ■タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

自動運転、換気単独・換気連動運転のしかた



自動運転を行なうとき

1. (　　)（運転／停止）ボタン①を押す。
2. (運転切換) ボタン②を押し、表示を [自 動] にする。
   - 設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。
     〈リモコンに表示します〉（16ページ参照）
   - 自動運転時は、燃焼運転は行ないません。

換気単独運転を行なうとき

1. (　　)（運転／停止）ボタン①を押す。
2. (運転切換) ボタン②を押し、表示を [換 気] にする。
   - 冷房運転・暖房運転などの必要がなく換気運転のみをしたい時に使用します。
   - 換気装置が連動接続されていない時は [換 気] の表示はされません。

換気風量を変えたいとき

(換 気) ボタン⑨を押す。

- 1回押すごとに設定が切換わります。

換気　弱 ⇄ 換気強

換気連動運転を行なうとき

1. (　　)（運転／停止）ボタン①を押す。
   - 換気装置が連動接続している場合は、自動的に換気運転します。
2. (換 気) ボタン⑨を押す。
   - 換気風量、強／弱どちらかに設定できます。

もっと知りたいとき

ドライ運転とは

- ミスタースリムではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転（ドライ運転）を行ないます。
- 室温18℃以下では、ドライ運転はできません。
- 室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切換えが行なわれ、リモコンでは設定できません。

●運転モード

室温	圧縮機運転3分後		圧縮機運転時間（分）	圧縮機停止時間（分）
	温調信号	室温		
18℃を超える	ON	28℃以上	9	3
		26～27℃	7	3
		24～25℃	5	3
		23℃以下	3	3
	OFF	無条件	3	10
18℃以下	圧縮機運転禁止			

温調信号ON …室温が設定温度より高い場合
温調信号OFF…室温が設定温度より低い場合

1. お好みの室温になるまで
   室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは連動して自動的に運転・停止を繰り返します。
2. お好みの温度になると
   圧縮機・室内ファンとも停止します。
   10分間停止が続くと湿度を低く保つため、圧縮機と室内ファンを3分間運転します。

暖房運転・燃焼運転について

- 暖房開始時に風が出ない：冷風を出さないよう室内ファンは吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切換わります。
  （ホットスタートといいます）
- 燃焼開始時になかなか点火しない：バーナーの予熱に約7～10分必要です。
- 風速が設定どおりでない：室温が設定温度になると、風速は微風となります。
- ワイヤードリモコンに“霜取中”“暖房準備中”の表示中は冷風を出しません。
- 運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。

霜取中とは

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行なっているときに表示します。
  霜取運転は約10分程度（最大15分）で終わります。
- 霜取運転を行なっているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。またこの間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

換気連動運転とは

- 室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行なうものです。

ミスタースリムの使用温度範囲

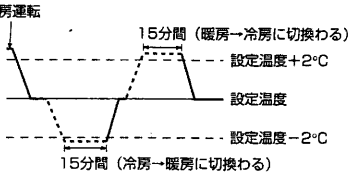
		室内	室外
冷房・ドライ	乾球温度	19℃～32℃	−5℃～43℃
	湿球温度	15℃～23℃	———
暖房・燃焼暖房	乾球温度	17℃～28℃	−11℃～21℃
	湿球温度	———	−12℃～15℃
送風・換気	乾球温度	———	———

風向について

- 冷房・ドライ運転時、下吹出しに設定しますと、1時間経過後、自動的に水平吹出しに戻ることがあります。これは上下風向ベーンや吹出し口周辺などに露つき、露たれが生じたり、露飛びを防止するためです。繰り返しご使用されて、露つきなどが発生した場合は、水平吹出しに戻してください。

自動運転とは

- 設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。
- 自動運転中に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切換わります。また、2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切換わります。



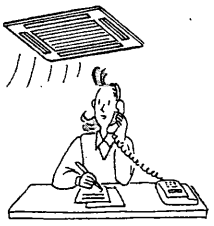
- 自動運転では、燃焼運転は行ないません。

上手な使い方

上手な使い方－ “ミスタースリム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

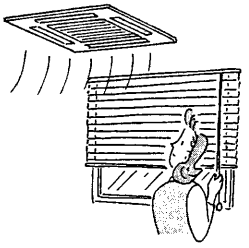
室内温度（室温）は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
- たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。



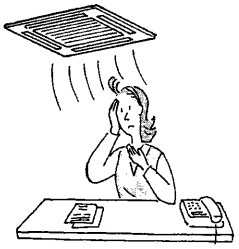
冷房時は熱の侵入を少なく

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。



長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。



フィルターの清掃を

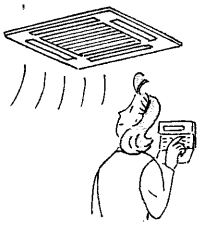
- フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。
- フィルターは通常の環境では約2,500時間ごとおよびシーズンの始めと終わりに清掃してください。
- ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。（18ページ参照）

中間期にはドライ運転を

- ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
- ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感じることがあります。ドライ運転をご利用ください。

室内の温度ムラ解消に風向調節を

- 冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房時、足元が寒いのは冷たい空気は重いので、床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。



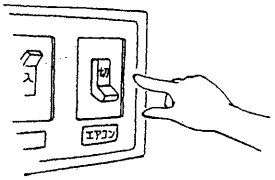
ときどき換気を

- 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。
- 冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

お手入れのしかた

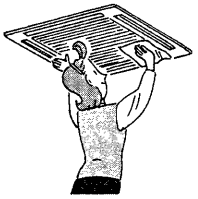
お手入れのまえに

⚠注意
必ず、電源を「切」にしてください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

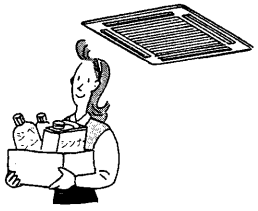


室内ユニットの清掃

■やわらかい布でから拭きをしてください。

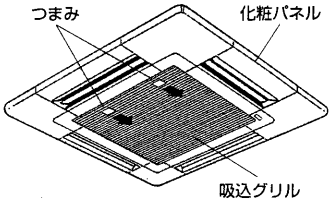


■上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押したりしないでください。故障の原因になります。
■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用し、中性洗剤が残らないようにふき取ってください。
■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。



吸込グリルの清掃

(1)吸込グリルを取外す。
①吸込グリルのつまみを矢印の方向へ引くと、吸込グリルが開きます。
②ヒンジ部の引掛けを外すと、化粧パネルから吸込グリルが取外せます。



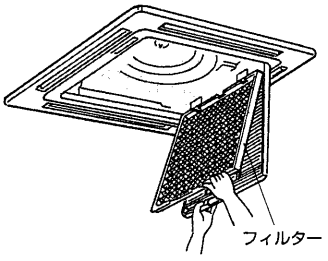
⚠注意
吸込グリルを取外すときは、目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行なうときは、転倒しないように注意してください。

(2)吸込グリルを水洗いする。
■やわらかい布で軽く拭くように洗ってください。水洗いのあとは、やわらかい布で水分を拭きとって陰干ししてください。
■家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使うときは、洗剤が残らないよう、よく水洗いしてください。
■タワシやスポンジの硬い面などで洗うと傷つくので使わないでください。
■長時間（2時間以上）温水や水につけておかないでください。直射日光や直接火などで乾燥させないでください。変形や変色の原因となります。

(3)吸込グリルを元の状態に取付ける。（取外しの逆の手順）

フィルターの清掃

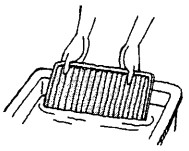
(1)フィルターを取外す。
■吸込グリルを開いてください。
■吸込グリル端面中央のツマミ部を倒し、フィルターを手前に引くと、フィルターが外れます。



⚠注意
フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行なう時は、転倒しないように注意してください。

⚠注意
フィルターを取外した状態で運転をしないでください。
内部にゴミなどが詰まり、故障の原因となります。

(2)フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。
■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
■熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。



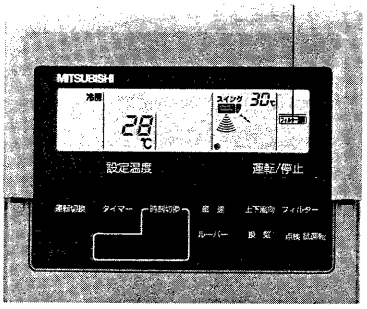
(3)水洗いをしたあと、日陰でよく乾かす。
■フィルターは直射日光や直接火にあてて乾かさないでください。

(4)フィルターを元の状態に取付ける。（取外しの逆の手順）

フィルター清掃時期

■フィルターは通常の環境では約2,500時間ごと、及びシーズンの始めと終わりに清掃してください。
■リモコンに“フィルター清掃”表示を点滅させて清掃時期をお知らせします。

“フィルター清掃”表示



“フィルター清掃”表示をリセットする

(1)フィルター清掃後（フィルター）ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。
■2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります（ロングライフフィルター：約2,500時間、一般フィルター：約100時間）。清掃時期の短い時間により“フィルター清掃”表示されます。また、フィルター清掃”表示を消すと全ての積算時間がリセットされます。
■“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

長期間ご使用にならないとき

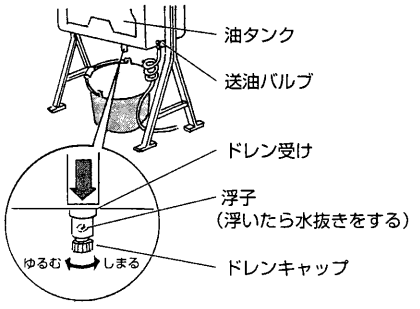
室外ユニットの点検

■室外ユニットの吸込口、吹出口、排気トップなどが塞がれていないか確認してください。
■排気トップが外れていたり、損傷してたりしてないか確認してください。
■送油管の接合部やオイルストレーナから油が漏れたり、にじんだりしていないか確認してください。漏れやにじみがある場合には、その部品を増締めてください。

油タンクの水抜き

■油タンク内に水が入るとドレン受け内の浮子が浮き上がります。ときどき点検して、浮子が浮いていたら、次の要領で水抜きを行なってください。

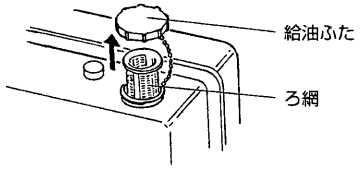
①送油バルブを「閉」にする
②ドレン受けの下に4ℓ以上の容器を置き、ドレンキャップを2～3回転ゆるめて水抜きを行なう
③水抜きが終わりましたらドレンキャップを元通り締付ける
④浮子が沈んでいるのを確認する
⑤送油バルブを「開」にする



ろ網の洗浄

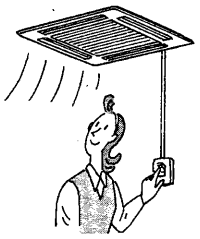
■1シーズンに1～2回程度、次の要領で、ろ網の洗浄を行なってください。
■必ず、灯油で洗ってください。
（水では洗わないでください）

①給油口のふたを取外す
②ろ網を取外す
③きれいな灯油で洗う
④ろ網とふたを元通りに取付けて完了

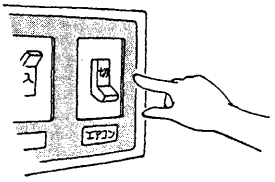


長期間ご使用にならないとき

(1)4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。
■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。



(2)エアコンの電源を切る。
■電源が入っていると数ワット～数十ワットの電力が消費されます。



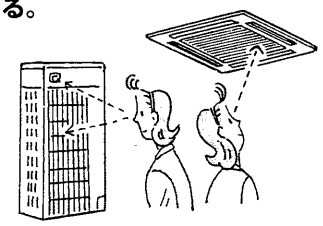
(3)油タンクの送油バルブを閉める。

再度使い始めるとき

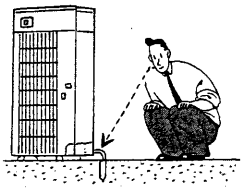
■下記作業（1）～（8）の点検を行ない、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

(1)フィルターを清掃して、取付ける。

(2)室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。

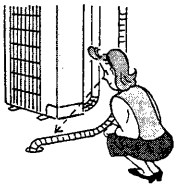


(3)アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。



⚠注意
アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。
アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行なう場合は販売店にご相談ください。

(4)ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



(5)灯油を給油し、油タンクの送油バルブを開ける。（暖房時）

(6)定油面器のリセットボタンを押す。（暖房時：11ページ参照）

(7)油タンクや送油管の接続部に油漏れや油のにじみがないか確認する。

(8)運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

「故障かな？」と思ったら

故障かな？	お答えします。（故障ではありません）
よく冷えない。よく暖まらない。	■フィルターの清掃をしてください。 （フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです） ■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。 ■室外ユニットの周囲空間を広く開けてください。 室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか？ ■窓やドアが開いていませんか？
暖房運転・燃焼運転にしたとき、すぐに風がでない。	■充分に暖かな風をおとどけするため準備中です。 ■燃焼暖房時は、バーナーの予熱のため7～10分間は運転開始しません。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。 ■燃焼運転時は、室外ユニットにたまりこんだ冷媒を回収する動作をすることがあります。そのまま10分ほどお待ちください。
風向が途中で変わる、風向が設定できない。	■冷房運転中、下吹出しで使用しますとベーンが自動的に1時間後に水平吹出しになります。これは水滴が滴下するのを防ぐためです。 ■暖房運転中、吹出し温度が低いとき、または霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。
風向を変化させたときベーンが1往復以上しないと指定位置に停止しない。	■風向変化時は、基準位置検知動作をしてから所定の角度にベーンが動きます。
水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	■エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。
部屋がにおう。	■エアコンが壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。
室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。	■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。
室外ユニットより水・水蒸気がでる。	■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。 ■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。 ■燃焼運転時に、排気ガスに含まれる水分が凝縮するためです。

故障かな？	お答えします。（故障ではありません）
リモコンの運転表示が点灯しない。	■電源開閉器を入れてください。表示部に“⊙”が表示されます。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	■“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。	■約3分間お待ちください。 （エアコンを保護するため、止まっています）
運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	■入タイマー運転をしていませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。 ■遠方コントロールが接続されていませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 ■“集中管理中”の表示が点灯していませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 ■停電自動復帰を設定していませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。
運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	■切タイマー運転をしていませんか？ 運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。 ■遠方コントロールが接続されていませんか？ 停止を指示したところへ連絡・確認してください。 ■“集中管理中”の表示が点灯していませんか？ 停止を指示したところへ連絡・確認してください。
リモコンのタイマー運転がセットできない。	■スケジュールタイマーが接続されている場合は、スケジュールタイマーでセットしてください。
リモコンに“HO”の表示が出る。	■初期自動点検（約2分）を行なっているためです。
リモコンにエラーコードが表示される。	■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。 ※自分では絶対に修理しないでください。 エアコンの電源を切り、また、油タンクのバルブを閉じて、お買い上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

「故障かな？」と思ったら

故障かな？	お答えします。（故障ではありません）
リモコンに“L3”または“L7”の表示が出る。	■燃料が切れていませんか？ 油タンクの灯油の残量を確認し、少ない場合は補給してください。 ■送油バルブが閉まっていませんか？ ■定油面器が作動していませんか？ 室外ユニットの定油面器リセットボタンを2～3回押してから再度運転してみてください。 ■油タンクに水がたまっていませんか？ 19ページの要領で確認し、たまっている場合は水抜きを行なってください。 ■油タンクの高さは正しいですか？ 油タンクの底部が室外ユニットの取手より高い位置にあるか確認してください。それより低い場合は汲み上げポンプ（別売）の設置が必要ですのでお買い上げの販売店にご相談ください。
リモコンに“L5”の表示が出る。	■地震などにより室外ユニットに振動がかかり、運転を停止しています。 ■室外ユニットは水平に据付けられていますか？ ■室外ユニット，油タンクに変形などの異常がないか確認してください。 ■油タンクや送油管に油漏れはありませんか。 ■異常が無ければ、一度電源を切ったあと再度運転すれば正常に復帰します。
自動運転時、燃焼しない。（暖まらない）	■運転モードが”自動”のときは燃焼運転しません。 リモコンの「運転切換」ボタンを押して“燃焼”にしてください。
初めて運転するとき、なかなか点火しない。	■暖房シーズンのはじめや、灯油を切らしたあとは送油管に空気が混入しています。エア抜きをするか、運転操作を繰り返してください。
初めて運転するとき、室外ユニットから煙や臭いが出る。	■初めて運転するときや暖房シーズンのはじめには、燃焼器に付着したホコリなどが燃えるためです。 しばらく使用していれば消えます。
燃焼運転中に室外ファンが回る。	■PUZB-3は燃焼運転中に、電気品の冷却のために室外ファンが回ることがあります。

安全装置

ジェットバーナー暖房エアコンは、下記のような安全装置や、その他の装置を装備しています。

対震自動消火装置

燃焼暖房運転中に地震などにより、室外ユニットに振動や衝撃が加わったとき、自動的に運転を停止させる装置です。

■作動すると、リモコンに“L5”が表示されます。

■対震自動消火装置が作動したときは、リモコンの運転／停止ボタンでエアコンを停止させ、送油系統や室外ユニットに異常がないか確認してください。

■リモコンの運転／停止ボタンで運転を再開できます。

■室外ユニットや、対震自動消火装置自体が傾いていると作動しやすくなります。たびたび作動するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

燃焼制御装置

バーナー内部で炎の状態を監視し、失火を検知すると燃料の供給を停止させます。

■作動すると、リモコンに“L3”が表示されます。

■次のような場合には作動しますので、リモコンの運転／停止ボタンでエアコンを停止させ、原因を取り除いてから、再度運転を行なってください。

- 燃料切れ
  灯油タンクが空になっていないか確認してください。
- 定油面器の作動
  室外ユニットの定油面器のリセットボタンを押してください。
- 給排気口の詰まり
  室外ユニットの排気トップが塞がっていないか、確認してください。

■たびたび作動するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

過熱防止装置

冷媒加熱器の温度が異常に上昇したとき、運転を停止させる装置です。

■作動すると、リモコンに“L2”が表示されます。

■冷媒加熱器が冷えれば、リモコンの運転／停止ボタンで再び運転できますが、たびたび作動するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

高圧圧力開閉器

圧縮機の運転に無理がかかったときに自動的に運転停止させます。

■作動すると、リモコンに“U1”または“UE”が表示されます。

■次のような場合には作動することがありますので、リモコンの運転／停止ボタンでエアコンを停止させ、原因を取り除いてから、再度運転を行なってください。

- 室内ユニットのフィルターが異常によごれているとき
- 室内ユニットの吹出口が塞がれているとき
- 室外ユニットの周囲に障害物があるとき
- 冷媒接続配管のバルブが全開になっていないとき

■原因を取り除かないで運転すると、圧縮機の故障の原因になります。

停電安全装置

運転中に停電すると、すべての運転を停止させます。

■停電が復帰すれば、リモコンの運転／停止ボタンで運転を再開することができます。

■ごくまれに、カミナリなどの外部要因で誤作動することがあります。このときは、一度電源を切り、再度運転を行なってください。

その他の装置

圧縮機過電流防止装置

圧縮機の負担が大きくなると、圧縮機を保護するために運転を停止させる装置です。

■作動すると、リモコンに“U6”,“UP”または“UF”が表示されます。

■リモコンの運転／停止ボタンで再び運転できますが、たびたび作動するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

圧縮機インナーサーモ

圧縮機の温度が異常に上昇したとき、運転を停止させる装置です。

■作動すると、リモコンに“U2”が表示されます。

■圧縮機が冷えれば、リモコンの運転／停止ボタンで再び運転できますが、たびたび作動するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

部品交換のしかた

部品交換が必要なときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。

部品交換について

■部品交換の際は、必ず三菱電機の専用補修部品をお使いください。
専用以外の部品を使用して万一事故や故障が発生しても、弊社は責任を負いかねます。

■修理は（財)日本石油燃焼機器保守協会で行なう技術講習修了者（石油機器技術管理士）等のいる販売店をご利用ください。

消耗・劣化しやすい部品

項　目	内　容
使用時間により交換が必要な部品	バーナーヘッド 点火電極 炎検知器(フレームロッド) モーター 電気接点部品など
不良灯油の使用により劣化しやすい部品	オイルフィルター 定油面器 バーナー 燃焼系部品 熱交換器 電磁ポンプなど
特殊な環境により交換が必要な部品	温度ヒューズ 電気接点部品 熱交換器 排気トップ 各種パッキンなど

別売部品について

ジェットバーナー暖房エアコンには、多様な使い方に対応いただけるように、専用の別売部品を用意しています。

室内ユニット用別売部品

■高性能フィルター
例えば、学校・学習塾等、チョークの粉などが多い環境でお使いください。
※併せて多機能ケースメントが必要です。

■多機能ケースメント
新鮮な外気を室内に取込む時に使います。

■吹出口シャッタープレート
吹出口数を2､3方向にする時に使います。

■加湿器
暖房時、お部屋の湿度が不足する場合に使います。

■スペースパネル
天井ふところが浅い天井に設置する場合に使います。

室外ユニット用別売部品

■灯油汲み上げポンプ
灯油タンクの高さが低いときに使います。
※灯油タンクの底面が室外ユニットの取手（定油面器）より低いときは必ず使用してください。

■吹出しガイド
風の吹出し方向を変更する部品です。

■エアガイド
－15℃での低外気冷房を可能にする部品です。

■ドレンソケット／集中排水ドレンパン
通路上への架台設置、またはドレンを一ヶ所から排水する場合に使用する部品です。

■防雪ダクト
降雪地域で、室外ユニットへの雪の浸入を防ぐ部品です。

■安全ネット
吸込口、吹出口を外力から保護する部品です。

■進相コンデンサ
3相電源機種の力率改善にご利用ください。

制御用別売部品

■スケジュールタイマー
1週間の曜日毎、運転時間を2モード（終日停止を含むと3モード）から選定できます。

■集中コントローラ／マルチパネルコントローラ
室内ユニット50台までを集中制御できます。集中制御には、一括／グループ毎に運転・停止／運転モードの切替え／設定温度の変更などを行なうことができます。

保証とアフターサービス

■保証書
- 室内ユニットに保証書を添付しております。
- 保証書は必ず「お買上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間	お買上げ日から1年間です。 （ただし、燃焼器については3年間です）

■補修用性能部品の最低保有期間
- エアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、通商産業省の指導により製造打切り後9年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は
- お買上げの販売店またはお近くの「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」（別添）にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは
“「故障かな？」と思ったら”（20～22ページ参照）をよくご覧になってお調べください。
なお不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。

◎保証期間中は
- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

◎保証期間が過ぎているときは
- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理いたします。

◎修理料金の仕組み
修理料金は、技術料＋部品代（＋出張料）で構成されています。

■ご連絡いただきたい内容

1. 形名･製品番号	室内ユニット・室外ユニット共に！ 保証書に記入してあります。
2. お買上げ日	○○年○月○日
3. 故障の状況	できるだけ詳しく。 （リモコンのエラー表示記号など）
4. ご住所	付近の目印なども
5. お名前･電話番号	

移設・工事・点検について

■移設について

①増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
②据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

■据付け場所について

●製品の据付けは販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施していますが据付工事完了後、販売店・工事店とともにお客さまご自身でもご確認ください。
①電源は専用回路からとってください。
②積雪の多い地方では排気トップが雪で塞がれないように注意してください。
③空気がよどむような場所では、不完全燃焼をおこすことがありますので注意してください。
④室外ユニットの周囲に可燃物や樹木などがあると火災の原因となることがあります。
⑤次の場所への据付けは避けてください。
・可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
・粉や蒸気が多量に発生するところ
・酢（酢酸）を多量に使用するところ
・油煙のたちこめるところ
・海浜地区等塩分の多いところ
・湿気の多い場所
・温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
・高周波加工機（高周波ウェルダー等）のあるところ
・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
など、エアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
⑥室内・外ユニットは必ず水平に据付けてください。
水たれなどの原因となります。
⑦病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

■保守点検契約のおすすめ

●エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては、臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をお勧めします。
また、燃焼器を長期間ご使用になる場合には機器の点検が必要です。1年に1回程度、お買い上げの販売店、または修理資格者［(財)日本石油燃焼機器保守協会で行なう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）等］のいる販売店で定期点検を受けてください。

■電気工事について

①電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。
他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカやヒューズが切れることがあります。
③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくは、お買上げの販売店にご確認ください。
④据付場所によっては、漏電ブレーカの取付けが義務付けられています。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。
⑤ブレーカ・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■騒音にもご配慮を

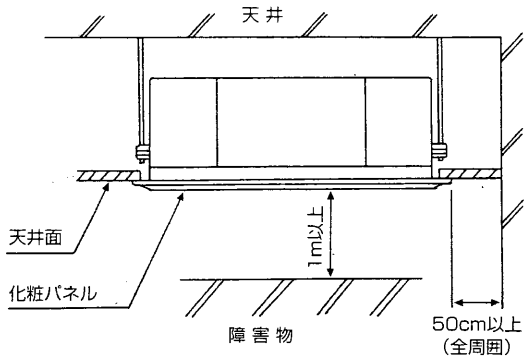
①据付けにあたっては、エアコンの重量に充分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
④エアコンをご使用中、異常音がする場合などは、お買上げの販売店にご相談ください。

■ご確認ください

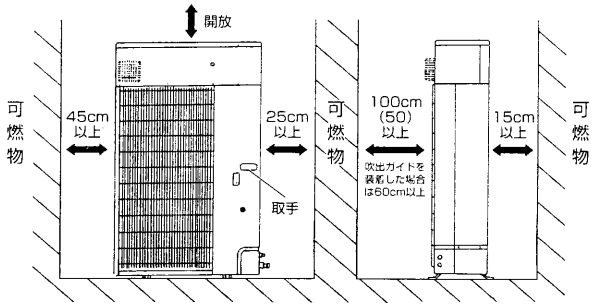
●据付工事が終わりましたら、必ずご確認ください。
①室内ユニット、室外ユニットの周囲には必要な空間寸法がとられていますか。
（26ページの標準据付け例 参照）
②油タンクは必要な高さがありますか。
油タンクが室外ユニットの定油面器より低い場合には別売の汲み上げポンプが必要です。
③油タンクや送油管から油漏れはありませんか。
④不安定な場所に据付けてありませんか。また製品は固定されていますか。
⑤排気トップが外れたりしていませんか。
⑥室外ユニットの周囲に可燃物や樹木はありませんか。
⑦電源は専用回路になっていますか。
⑧漏電ブレーカは設けてありますか。また容量は適切ですか。
⑨アース接地は確実に行なわれていますか。
⑩冷媒配管接続部のガス洩れはありませんか。
⑪送油管のエア抜きを行ないましたか。
⑫ゴム製送油管を使用していませんか。
（ゴム製送油管の屋外での使用は禁止されています）
⑬必ず試運転を行なってください。（26ページ参照）

標準据付け例

室内ユニット



室外ユニット



( ) 内寸法はPUZB-3の場合を示します。

お願い：油タンクは、タンクの底部が室外ユニットの取手より高い位置になるように設置してください。
それより低い場合は、灯油汲み上げポンプ（別売）を取り付けてください。

試運転について

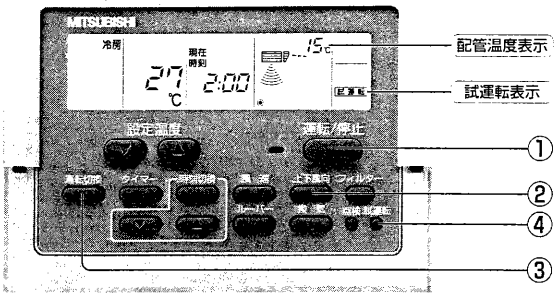
試運転は販売店または据付業者とご一緒に必ず行なってください。

試運転の前に 試運転操作は、リモコンまたは室外ユニットのどちらでも行なうことができます。

■室内・室外ユニット据付け・配管・配線作業終了後、冷媒洩れ・各配線の緩み及び極性間違いがないか今一度確認してください。
■給油及び送油経路のエア抜きと油漏れがないか確認をしてください。
■室外ユニットの電源端子盤（R,S,T）と大地間を500Vメガーで計って、1.0MΩ以上あることを確認してください。
※内外接続用端子盤（S1,S2,S3）とリモコン用端子盤（1,2）には絶対にかけないでください。故障の原因になります。
■機種により風量設定・停電自動復帰などの機能を切換える必要がある場合は、リモコンによる機能選択を参照して設定変更してください。
■室外ユニットが異常でないこと。（室内ユニットが異常の場合、基板上のLED1（デジタル表示）で判定できます。）
■ストップバルブが液、ガス側とも全開であること。

試運転方法

リモコンによる試運転（ワイヤードリモコン）



上図は冷房時の試運転状態を示したものです。

■電源を入れます。
- リモコンの室温表示部が“H0”表示の時はリモコン操作ができません。“H0”が消灯してから操作してください。電源投入後、“H0”は約2分間表示されています。

■（試運転）ボタン④を2回押す。
- （試運転）を表示します。

■（運転切換）ボタン③を押す。
- 冷房運転……冷風の吹出し確認、ドレン排水の確認をします。
- 暖房運転……温風の吹出し確認をします。（少し時間がかかります）
- 燃焼暖房運転…温風の吹出し確認をします。（少し時間がかかります）
室外ユニットの、のぞき窓にて炎を確認します。

■（上下風向）ボタン②を押す。
- オートベーンの作動の確認をします。

■室外ユニットのファンの運転の確認をします。
- 室外ユニットは、ファンの回転数をコントロールし能力制御をしています。そのため外気の状態によっては、ファンは低速で回り、能力不足にならない限りその回転数を保持します。従ってそのときの外風によりファンが停止又は逆回転となることがありますが、異常ではありません。

■（運転／停止）ボタン①を押し試運転を解除します。
■電源を切ります。

■試運転は、2時間の［切タイマー運転］が作動し、2時間後に自動的に停止します。
■試運転中の室温表示部には室内ユニット配管温度を表示します。
■ドライまたは送風モードでの試運転は冷房運転に、また冷暖自動モードでの試運転は暖房運転となります。

仕様

この印刷物は、
再生紙を使用しています。

ヒートポンプ冷暖房兼用セパレート形・空冷式・直接吹出形

50／60Hz

セット形名		PLZB-3AAG	PLHB-4AAG	PLHB-5AAG
能力	冷房（最小～最大）kW	7.1（3.0～7.1）	10.0／11.2	12.5／13.0
	暖房（最小～最大）kW	10.0（7.0～10.0）	11.4／12.8（7.6～11.4／8.1～12.8）	16.0／18.0（11.2～16.0／12.6～18.0）
	暖房（ヒートポンプ運転時）kW	8.0（3.0～8.0）	10.6／11.8	14.0／16.0
消費電力	冷房 kW	3.23／3.24	3.51／4.10	4.92／5.97
	暖房（点火時）kW	1.60／1.61	2.25／2.88	3.35／4.75
	暖房（燃焼時）kW	1.05／1.06	1.70／2.33	2.80／4.20
	暖房（ヒートポンプ運転時）kW	2.71／2.72	3.47／4.03	5.13／6.14
運転電流	冷房 A	9.7／9.7	11.8／12.9	16.5／18.3
	暖房（点火時）A	6.4／6.4	11.1／11.3	14.9／16.5
	暖房（燃焼時）A	3.4／3.4	8.1／8.3	11.9／13.5
	暖房（ヒートポンプ運転時）A	8.2／8.3	11.7／12.7	17.3／19.1
室内ユニット	形名	PLZB-3AA	PLHB-4AA	PLHB-5AA
	騒音：強－中－弱－静粛 dB	34－32－30－28	40－38－35－32	42－40－37－34
	風量：強－中－弱－静粛 m^3/min	20－18－16－15	28－26－23－20	30－28－25－22
	外形寸法（高さ×巾×奥行）mm	258×840×840	298×840×840	
	質量（本体＋パネル）kg	24＋5	28＋5	
室外ユニット	形名	PUZB-3GA	PUHB-4GA	PUHB-5GA
	品目	ヒートポンプエアコン補助熱源用油だきバーナーユニット		
	種類	気化式　屋外用開放形		
	電源電圧及び周波数	3相200V　50／60Hz		
	点火方式	高圧放電点火・自動点火		
	使用燃料	灯油（JIS1号灯油）		
	燃料消費量（最小～最大）L/h	1.06（0.72～1.06）	1.08／1.20（0.79～1.08／0.79～1.20）	1.44／1.56（1.12～1.44／1.12～1.56）
	熱効率 %	85		
	暖房出力（最小～最大）kW	10.1（6.9～10.1）	10.3／11.5（7.5～10.3／7.5～11.5）	13.8／14.9（10.8～13.8／10.8～14.9）
	排気温度 ℃	260以下		
	騒音 dB	47（冷房時）／48（暖房時）	47	51
	風量 m^3/min	45	80	85
	温度ヒューズ	120℃・10A		
	電流ヒューズ	インバータ回路保護30A 制御回路保護6A　内外連絡6A	圧縮機保護30A　制御回路10A　電源回路2A　内外連絡6A	
	安全装置	対震自動消火装置		
		過熱防止装置		
		燃焼制御装置		
		高圧圧力開閉器		
		停電安全装置		
	その他の装置	圧縮機過電流防止装置		
		―――	圧縮機インナーサーモ	
	外形寸法（高さ×巾×奥行）mm	1110×900×〔330＋20〕	1515×900×〔330＋20〕	1515×1050×〔330＋20〕
	質量 kg	94	129	161

※／で示される数値は左が50Hz、右が60Hzで、その他は50Hz、60Hz共通です。
※電気特性は製品に貼付してあります製品銘板に記入してあります。

仕様

愛情点検　●長年ご使用のエアコンは点検を！

●パッケージエアコン補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。

ご使用の際このようなことはありませんか

- ●運転音が異常に大きくなる。
- ●室内ユニットから水が漏れる。
- ●電源が頻繁に落ちる。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止　故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のため記入しておくと便利です。	お買上げ（据付）日　　年　月　日
お買上げ店名	電話

三菱電機株式会社　静岡製作所　〒422-8528 静岡市小鹿3-18-1
☎(054)285-1111(代表)

BG79M895H03